日本勤労者山岳連盟・静岡県勤労者山岳連盟

裾野麗峰山の会 (sine１９９４)

第２７期・２巻　　２０２１年　　５月号　　ＮＯ．237

仲間と仲間を結ぶ機関誌

れいほう

Susono Reihou Alpine Club

雪の記憶

山行ＮＯ．１９１３
２０２１．０４．０１
頚城・高松山北尾根

２０２１年度　５月度例会資料　　２０２１、０５．０１

１．報告・当面の予定

２７日（土・個）・・・まったりハイク＝だいらぼう　４名

０４月　０３日（土・会）・・・定例アルパイン（悪天候中止）

１０日（土・個）・・・山岳スキー（悪天候中止）

１１日（日・個）・・・道志・菰釣山バリ　４名

１５日（木）～１６日（金・個）・・・三重県・鎌ヶ岳、ほか

２４日（土・個）・・・北八ッ・横岳　５名

３０日（金・個）

０５月　～８日（日）・・・連休山行

１５日（土）・・・定例ハイキング

２．財政・・・会費、集めています。（合谷）

３．寄贈会報とピックアップ

「ハイキングだより」　みちぐさハイキングクラブ　４月号　NO.320　電子版　p12

＊表紙は、快晴の八箇峠６００P・雪上ハイキング。ほか、定期総会。

「やまなし山の会会報」　山梨・山の会　５月号　NO.276　電子版　P20

＊リーダーに、手当が１日＝１０００－出る。３日間は、３０００－か？？！！有料リーダーって、義務は何？。負担にならないか？？！！改正案（値上げか）が出たが、強い反対意見で現行通り・・・。公開登山教室を開催する。最終目標は、１泊２日で鳳凰三山。「省エネ登山実践」とある。内容は。「丹田を意識して」「ナンバ（難場？？）歩き」「ポールを使っての歩き方」とか・・・。

「くろゆり」事務局ニュース　三島勤労者山岳会　４月号　NO.495　P9　電子版

＊総会報告。事務所引当金が多い。会山行計画者ヒに補助金を支給することになった。そこまで来たか？？！！

「のいちご」　伊豆ハイキングクラブ　４月号　NO.402　P16　紙製本・電子版

＊電子版も出来た。比べてみれば、紙製本のが見やすいか？？！！。ただ、閲覧し易いのはイイ。

「あしたか」　沼津勤労者山岳会　４月号　NO.表記ナシ　P６　電子版

＊計画、報告＝七面山、富士山・御殿庭など

「あさぎり」　あさぎり山の会　４月号　NO.330　A4判　p31　紙製本

＊自然保護部、プラスチック問題６（最終回）など。

「登山時報」　日本勤労者山岳連盟　５月号　NO.555　特集「上越の山」　p40　紙製本

＊特集で谷川岳、馬蹄形縦走の紹介。ただ、日帰りでコースタイムもない。これでは、参考にならん。編集長に方針を求めたが、返答なし・・・。

シラヌタの大スギ 東伊豆、鰐口 浜松

県指定文化財2件答申

保護審

5/25

県文化財保護審議会は24日、東伊豆町の「シラヌタの大スギ」と浜松市に伝わる工芸品「鰐（わに）口」を県指定文化財に指定するよう川勝平太知事に答申した。

シラヌタの大スギは林野庁伊豆森林管理署が東伊豆町奈良本の国有林で所有している高さ40㍍の天然記念物。樹勢は良好で損傷も少なく、美しく整った樹形を保つ。8・55㍍の幹回りは県内8番目の大きさを誇るといわれる。「天城の太郎杉」「天城の次郎杉」と並び、伊豆半島を代表する巨木として地元住民に親しまれている。

鰐口は仏堂や社殿の軒下につるし、参詣者が打ち鳴らす金属製の音響具で浜松市博物館の所蔵。表面には至徳2年（1385年）の文字が刻まれ、室町時代前期の製作とされる。銘文には国土豊饒（ほうじょう）などを願い、現在の浜松、磐田両市にまたがる地域にあった池田荘の若宮大明神に奉納されたことなどが記されている。

県指定文化財は今回分を含めて計555件（有形335件、無形1、民俗58件、記念物161件）になる。

上シラヌタの大スギ（県提供）下浜松市に伝わる工芸品「鰐口」

■植村冒険賞に稲葉香さん

自然を舞台に活躍した個人や団体に贈られる「植村直己冒険賞」の2020年の受賞者に5日、普段は美容室を経営する大阪府の稲葉香さん(47)が選ばれた。標高5000㍍以上の峠に囲まれた西ネパールのドルポと呼ばれる地域で越冬し、厳しい自然の中でたくましく生きる人々の暮らしを記録したことが評価された。

稲葉さんは東大阪市出身で、現在は大阪府千早赤阪村在住。18歳でリウマチを発症し、一時は歩行が困難なほど苦しんだ。植村氏の著書などに影響を受け、治療の傍ら、ネパールなどを旅するようになった。19年11月～20年3月、痛み止めの注射を持ち込み、ドルポ地域の村々を訪問した。

「植村直己冒険賞」の受賞が決まり、記者会見する稲葉香さん＝5日午後、東京都千代田区

4/6

東京都内で同日開かれた記者会見では「病気に苦しんでいた自分にとって、植村さんは命の恩人。山に行くと人間の本来の力が引き出されるようで痛みも消える。受賞が決まり、とてもうれしい」と述べた。

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・写真　ＧＴ
山行番号	NO.１９１３
日　　時	２０２１年４月１日（木）無風快晴高温
山　　域	頚城山塊・高松山（１７２５ｍ）
コース	笹倉温泉発５：２３ーアマナ平７：４６ー焼山川８：２２ー尾根取り付きー最高到達点１５６０ｍー滑降ー焼山川ーアマナ平ー笹倉温泉１２：４６ー移動ー妙高高原
単純標高差	上り　笹倉温泉約４８０ｍ～最高到達点約１５６０ｍ＝約１０８０ｍ 下り　同上
藪漕度	上り・下り　なし
難易度	非常に困難　困難　レやや困難　普通　やや易しい　易しい
	上りは地獄、下りは極楽のハズが･･･
参加者	後藤、加藤＝２名

１日、長駆、糸魚川から笹倉温泉に向かう。笹倉温泉は、標高約４８０ｍだが、積雪はまだ１ｍ以上ある。サクラは咲いていない。笹倉温泉は、２０１９年３月以来。その時は、大雪で途中の集落で帰った。

東一華

笹倉温泉上

久しぶりに笹倉温泉に入りたかったが、コロナで休業。今週から週末だけ営業とのこと。ただ前回、早朝トイレを借りた。駐車場で開業の支度をしている、「部長さん」に頼んだ。部長は、快く承諾してくれた。旅先で温かくして頂くと有難い。感謝でした。

笹倉温泉は、駐車場脇に温泉がコンコンと出ている。温泉に入れないので、ビニール袋に温泉を入れて、即席の「足湯」を楽しんだ。足が温まるだけで気持ちが良い。これも有難かった。

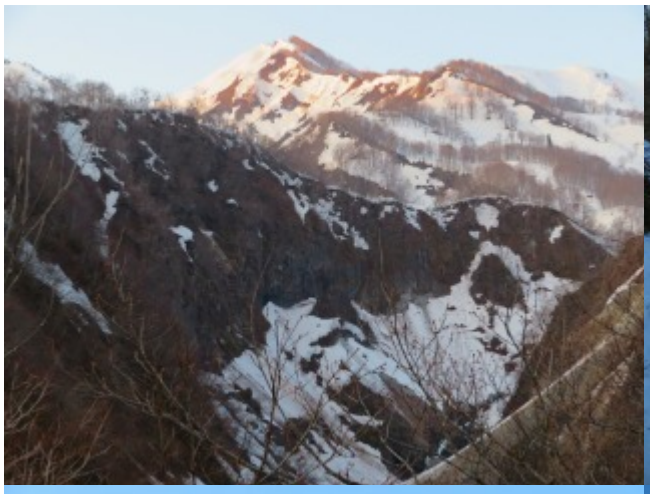
駐車場にいたら、二名の方が山から降りて来た。聞けば、我々が明日行く、高松山を上り滑って来たという。ただ、コースは、我々が希望している、北尾根～頂上～一ノ倉川でなく、尾根往復といった。

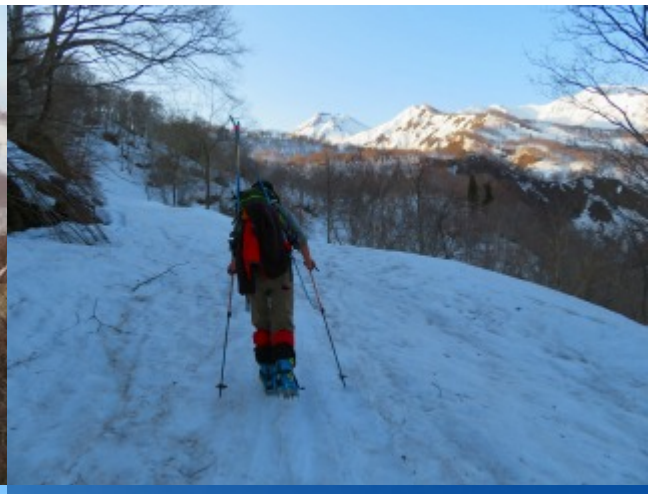
頂上は上らなかったという。いや、上らなかったでなく「上れなかった」ようだ。何故の質問に

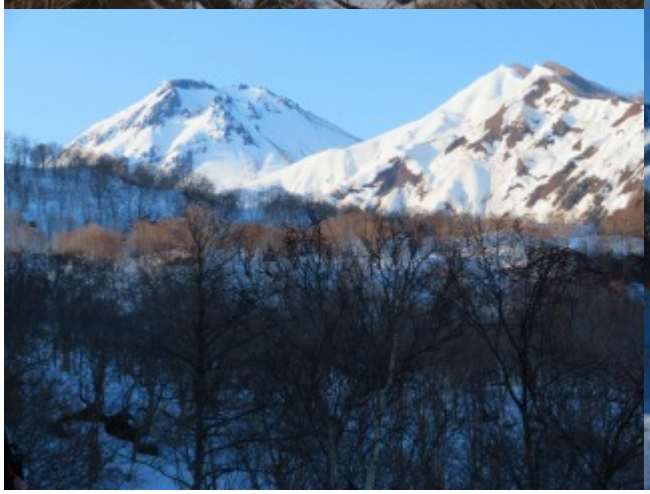
「雪壁・雪庇（せっぴ)」といった。雪庇とは、雪の庇（ひさし）で風下に形成される。大きいと崩さないと突破出来ない。「ふ～ん、厳冬期なら、いざ知らず、この時期でもそんな状態か」と思った。何となく素人っぽく、一人の方は、障害を持っているようだった。そんなことで、私は少し見くびった。しかし、我々も結果は、忸怩たるものだった。

笹倉温泉

手製足湯（笑い）







左・焼山、右・高松山　　中央奥が高松山

２日、ようやく明け始めた５：２３出発。天気は良く風はなく温かい。雪がカチカチなので、スキーは背負って行く。前回はシールで上ったので、取り付きの林道で苦労した。急な林道をこなす

と、ようやくなだらかになる。正面に高松山が大きい。雪がベッタリ付いている。とても、１７００ｍの山と思えない。

林道が終わると、アマナ平と呼ばれる平坦地に出る。ここでアクシデント。相方のアイゼンのピンが折れて、前後に分解しまった。アイゼンがないと上れない。カメラ落下防止のナイロン製の太い紐で応急処置。案外、上手く固定出来た。

・・・・・・壊れたのは、チタン製のアイゼンで、山岳スキー靴専用のものだった。壊れた箇所は、アイゼンの前と後ろを繋ぐピンが折れていた。ピンが折れると、前後を繋ぐものが無くなり分解する。４ミリくらいのピン一本で、前後が繋がっているのは、いかにも脆弱。壊れた場所が本格的な上りでなく幸いだった。

仮に氷化した急斜面だったら、滑落する恐れがあった。不幸中の幸いだった。応急処置は、３ミリのナイロンで留めたら案外、上手くいった。このアイゼンの設計は、アイゼンを靴の大きさに簡単に合わせられるようなっている。

ピンのところがバネで上げれば、調整は簡単に出来る。ただ、ピンは細くそこに全荷重が掛かる。長年、使っているとピンに疲労が溜まる。

アジャスト・ピンが折れた

修理済

我々の登山靴は、冬靴・春靴・夏靴（劔岳など、真夏でもアイゼンを使う場合がある）・ハイキング靴と使い分けている。アイゼンもその靴に合わせたアイゼンが数台ある。だから、アイゼンの調整は必要ない。調整はピンでなくネジでしっかり固定したアイゼンが望ましい。

山中でアイゼンのトラブルは、下手をすると遭難になりかねない。帰静し、さっそく修理に掛かった。ピンのバネを除去し、ピンの代わりに、ジャンボ・エンチョーでステンレス製の５ミリの雄・雌のネジを購入した。

雌ネジは、座付きで緩みにくい仕様だ。結局、時間は３０分、経費は１００円程度。今度は絶対、バレることはない。むしろ、何処かが強くなると、弱い部分に負担が掛かるのが心配くらい。そんなことで、当分このアイゼンのトラブルは回避できそうだ。ただ、次回から帰着時・出発時、しっかり点検すことが大事なことでしょう・・・・・・。

焼山川を渡る。水流は出ていない。標高は約１０００ｍ。笹倉温泉から５００ｍ上った。頂上まで、まだ７００ｍ以上ある。夏でも２時間以上掛かる。３時間みなければならないだろう。しかも、物凄い急登だ。

急登に入る。荷物が重く苦しい。スキー登山の場合は、普通の登山に比べ、１０ｋｇほど多い。スキー板・靴・シール・スキーアイゼンなどだ。スキー滑降はサイコーに気持ち良いが、登行は最悪で地獄だ。苦しい登行が続く。兎に角、急な尾根だった。天気は無風快晴高温。絶好の登山日和

左が高松山

だが、いかにも暑すぎる。標高は１２００ｍくらい。大分、高度を上げて来た。高松山は、北面故、真っ白だった。目を凝らせば、焼山台地に先ほどの３名見えた。下部で我々より先を歩いていたが、現在は、こちらのが高度がある。それだけ尾根が急ということだろう。盟主・火打山、焼山が大きい。

・・・・・初めてこの山塊を訪れたのは、１９７７年４月２８日～５月２日で４４年前。妙高～火打～雨飾を単独でやった。しかも、私はその前月の３月２０日結婚したばかりだった。考えれば、随分、無茶をしたものだ。今では、とても考えられない。

その時、前後して歩いていた３人組は、雨飾山で荒菅沢をスキーで下って行った。アッという間の出来事だった。私は黒沢尾根をタラタラ下った。夕方、やっと山田旅館着。スキー組は、既に温泉を済ませ、盛り上がりビアをやっていた。

実に悔しかった。スキーを上手くならなきゃと感じた。当時、山田旅館は、一泊二食で４０００ーだった。４４年前ならそのくらいだろうか。翌日は大雨で、逃げるように帰静した・・・・・

雪面にちょっと変わった足跡があった。余り見ない形だった。帰って調べたら「ライチョウ」らし

高松山・北尾根

い。頚城山塊に「ライチョウ」がいることは知らなかった。過去の記録に記述があった。火打山も多い記録がある。「ライチョウ」の足跡を観察しながら上る。暑い。汗が吹き出る。余りの暑さに、

「股引」を脱いだ。脱ぐといっても簡単にいかない。面倒なスキー靴を脱いで、片足ずつズボンを下して脱ぐ。４月の好天時は、朝と昼の寒暖が大きい。朝は相当冷えるから、やっぱり股引は必要。
　ただ、昼はモーレツに暑い。登山は出来るだけ汗を掻かない工夫が必要だが、こればかりは、どうにもならない。脱いだ股引は汗でグジャグジャだった。これで、また荷物が増える。

　頂上に目を凝らしたら、何と２名先行していた。下山後、笹倉温泉で交流して分かったが、地元のＹ沢・Ｋ藤さんだった。聞けば我々より早い４時半に出たという。しかし、若いうえに地元の山には精通している。速いのは、当たり前といえば、当たり前かもしれない。彼らのネットを観たら毎週、近辺を滑っていた。
　山に昨日のと思われる、スキー跡があった。昨日、会った方だろう。急な尾根なので、雪が悪いと難しそうだ。尾根の向きが北から東に変わる上がスキーの滑降ポイント。標高は、ちょうど１５００ｍだった。

　ポイントの上が標高１５６０ｍ。窪地があり、夏は池塘（ちとう）が出来るような地形だった。窪地から頂上まで約１６５ｍ。細く急な雪稜が続いていた。見上げると頂上まで３段に見えた。この重い荷物で上るのは難儀な感じだった。しかも、何故か相方が、ピッケルを持参しなかった。
　昨年末、八方尾根を上った時、ピッケルは使ったが、山によっては、ストックで上れると自負していた。私もそれを聞いていたので特に注意はしなかった。しかし、頭上の急峻な雪稜は、やっぱりピッケルがないと難しく怖い。

私は例えスキーで反対側の一ノ倉川を滑れなくても、荷物をここに置いて空身でピークをピストンも考えた。山に来た以上、ピークにこだわるのは当たり前だ。そのこだわりが無くなったら山登りは止めた方がよい。簡単に「敵前逃亡」はいけない。

だが、最近、私は加齢と共に「山が怖く」感じることがある。無論、ピッケルがない相方を置いて、単独で上る勇気はとてもなかった。昔から、臆病だったが最近輪をかけている。結局、ここから滑降することにした。無理をすることはない。最近の山では、昨年末の唐松、２月の西天狗、に続いて３度目だった。滑降は、雪面が荒れている。やや硬い。急で、イマイチだった。ただ、ボーゲンが上手い相方はスイスイだった。

無木立・疎林を抜けると簡単に焼山川着。アマナ平大休憩。好天で温かく、有り難い。ここから

笹倉温泉

地元のＹ沢・Ｋ藤さん

林道を滑って笹倉温泉着。駐車場まで滑り込めるのはサイコーだ。昼食を食べていると、前述の２名がやって来た。話好きで３０分話してしまった。今度、富士山を頂上から滑りたいという。彼なら全く問題ないでしょう。友情の証に、ビアを一本進呈。（一人は運転なので）喜ばれた。

追記

ここを知人の女子（男子・１名、女子・２名）が、２月に上った。驚異だった。

https://bigislandyamaguide.com/

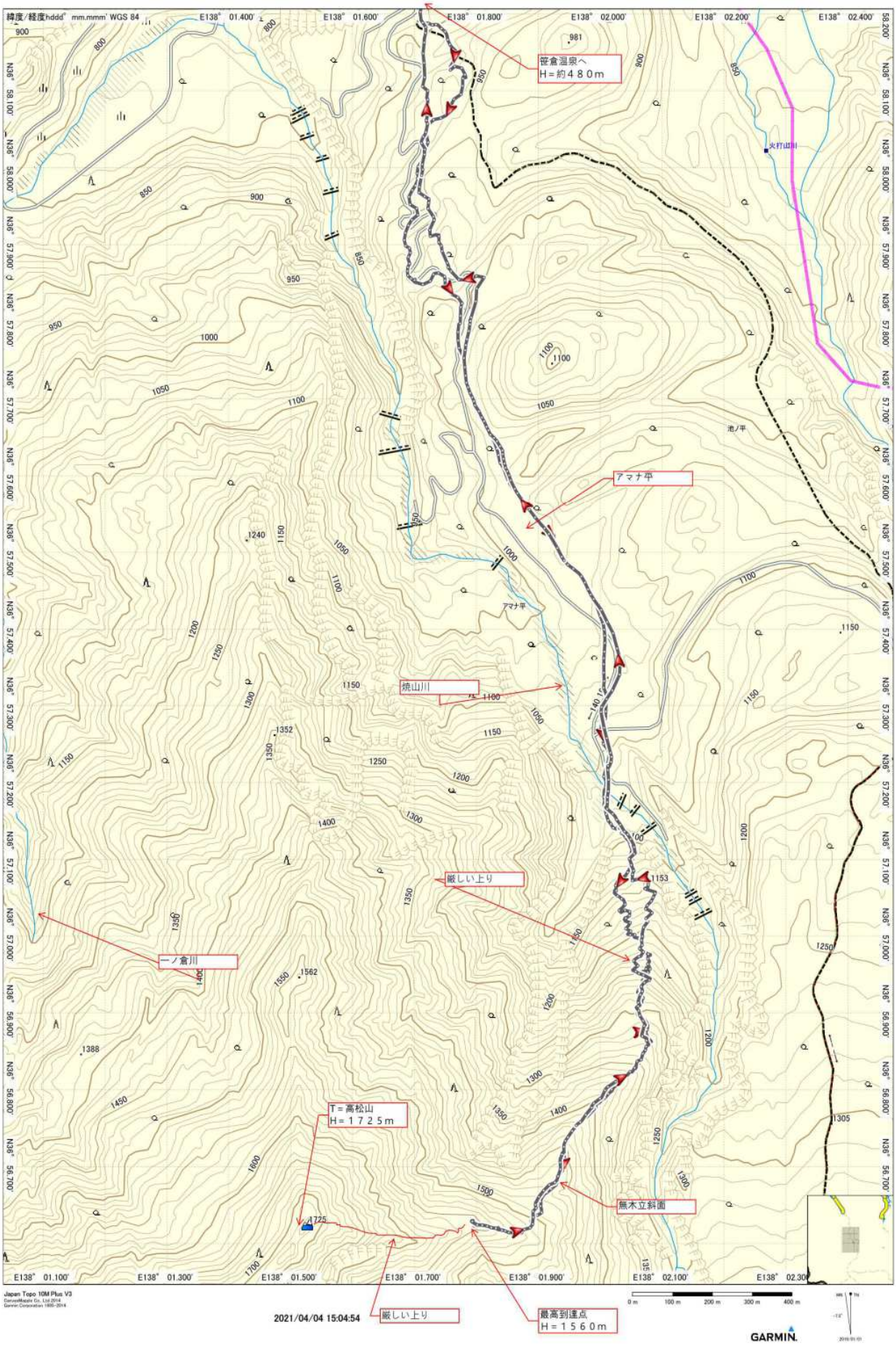
Japan Topo 10M Plus V3
CanvasMaple Co., Ltd 2014
Garmin Corporation 1995-2014

2018/04/21 17:44:57

0 m 100 m 200 m 300 m 400 m

GARMIN.

MN TN -7.5° 2010/01/01


笹倉温泉へ
H＝約４８０ｍ
アマナ平
焼山川
厳しい上り
一ノ倉川
T＝高松山
H＝１７２５ｍ
無木立斜面
厳しい上り
最高到達点
H＝１５６０ｍ
2021/04/04 15:04:54
GARMIN

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・ＩＫ　　写真・ＧＴ
山行ＮＯ.	1915（個人山行）
日　　時	2021 年 4 月 11 日（日）無風・快晴・気温（行動中は汗、止まれば爽やか）
山　　域	道志山塊・菰釣山（1379m）北東尾根～B 北尾根
コース	竹沢種苗店 6：00 ー山中湖ー山伏峠ー道の駅「どうし」ー駐車場「山荘・水之元」7:38ー発 7：55ー三角点・三ヶ瀬 1055.73m8:44 ー菰釣山(1379m)11:41（昼食・休憩）～下山開始 11:55ー下降点・1310m 峰ー B 北尾根ー大西沢ー林道ー駐車場「山荘・水之元」13:50～14:35（風呂）ー長泉 15:40 ー反省会・長泉「満貫」
累計標高差	上り　山荘「水之元」約 730m～菰釣山 1379m＝約 649m（やや長い） 下り　菰釣山 1379m～山荘「水之元」約 730m＝約 649m（林道長い）
藪漕度	上り・下り　なし
難易度	非常に困難　　困難　　やや困難　　レ普通　やや易しい　易しい
道志・菰釣山バリエーション学習会	
参加者	後藤、加藤、遠藤（沼津労山）、井上　＝4 名

沼津労山の会長様であられる遠藤さんが、地図読み学習で参加。会長クラス３人と私の４人。また、私以外 3 人は苗字に「藤」の字が入る名前。なんとも不思議な感じ。

道の駅「どうし」でトイレ。静岡の地元は、もう桜は終わってしまったが、標高 700m のこの辺りは満開。駐車場にバイクが多い。2019 年 9 月に近くの道志キャンプ場で行方不明になった当時小学 1 年生の女の子の探し人の貼り紙が淋しい。

山荘「水之元」

北東尾根

地図を見ながら現在地を特定し尾根に取り付く。明確にとがった尾根なので登りは安心。先頭を行く遠藤さんの歩きが早く、最初の標高差 100m を 15 分で登った。これでは 1 時間 400m ペースで早いので、後藤さんが先頭になっていつもの 1 時間 300m ペースに戻した。

杉の人工林の中を登り、標高 900m で自然林が現れた。何種類もの鳥たちが周りで賑やかに鳴いている。空気はどちらかというと冷たく手は冷えるので手袋をした。登ると体は温まり、1 枚ずつ

服を脱いでいく。汗もかくけど大汗ではなく爽やかである。しんどい登りの後のビールを楽しみにしているので、心配はビールがうまいか否かであった。

後藤さんが突然「どれだけ？」と質問してきたので高度を聞いているのかと思って答えたが、ビールを何本持ってきたかといういつもの問いであることに気づき、「ビール（の本数）ですか？」と聞くと、笑って「ビールと言ってはいけない」と言う。

後の昼食時に、山ではビールがエネルギーの吸収が良く、ほぼ酔わないのだと語り、むしろ「点滴（栄養剤？）」のようなものだという結論に至った。そして、今日一番驚いたことは、遠藤さんの沼津労山は、車で山に来たときは、運転手以外の人も全員お酒を飲まずに帰るということを聞いた。山の頂上で、ビールを飲む姿を良く見かけ、これが山では普通だと思っていたが、意外と仲間のグループがそのような、「清い戒律（不文律？）」を守っているとは思わなかった。

三角点・三ヶ瀬

お隣の三島労山も同じらしく、近接する沼津、三島、長泉で長泉だけが、「飲ん兵衛の会」みたいだ。ちょっと恥ずかしいので、他の会の人がいる時は、点滴とか栄養剤と言おう。エネルギーの吸収のスピードを考えると「点滴」のほうが近いが、さすがに山に点滴を持ってくるのは、遭難者の治療みたいなので、「栄養剤」くらいがよいかも。

ずっと分かり易い尾根を登ってきたが、南西に向かう尾根は、標高 1130m 地点に 2 万 5 千図にもあるポッコリとしたピークがあり、ここが、登りでの地図読みポイント。後藤さんの「どっちだ」の問いに、遠藤さんは見事に反対方向を指した。私の我流の地図の読み方で行く方向を説明したが、今いちで、加藤さんが正しいコンパスの使い方を説明した。

進路を南に取り進む。バリエーション尾根が終わり一般登山道に合流。富士山は頭だけ雲から出し、頭は真っ白だった。帰りに下りで使う予定の尾根を探すが、初め間違え、かなりきつそうな尾根を見て、これでは下れないと話した。もう少し進むと V の字に道が曲がり、地図も同じようになっているところが予定した、P1310m の下りの尾根であることが分かった。

これなら快適そうだ。菰釣山の頂上までは、整備された道を登るのだが、階段になっているのでむしろ疲れる。一般道にでるまでのバリエーション尾根の方が好きな歩幅を試せるので非常に楽。しかし、頂上でうまいビールを飲むために頑張る。霜柱が残っている。地表の温度は低いのだろう。偽ピークにだまされ、その先の頂上に到着。

マメサクラ

手製の道標

２つのテーブルは先客がいて、テーブル以外にも南側の山中湖と富士山が見える斜面に 2 人いた。私たちは南東側の倒木があるところに陣を張る。雲で日が陰ると少々寒いが、太陽が出るとポカポカと暖かい。ゆっくりビールを飲み、のんびり過ごした。

12 時に近づくにつれ登頂者が増えてくる。下山開始。加藤さんは山頂にいた人全員と仲良くなったようだ。「またどこかで会いましょうね」と挨拶をしていた。下山で使うバリエーション尾根の頭に男 3 人がほぼ道の上で食事をしていた。見ると沢登りの姿。一番年上の方は後藤さんと同い

沢登りのオヤジたち

歳で１ヶ月誕生日が後だった。

お名前は？と聞いたが、「少しは有名になったが名乗るほどのものではない」と時代劇の通りすがりの武士のようなことを言って、どんなに聞いても教えてくれなかった。その方が沢をやるので、後藤さんが、私はこの歳で山スキーに行っていると言うと、2 人目の方（石川さんと言っていた）は山スキーの本を書いたと言う。後藤さんが先週に頚城・高松山でスキーをしたと言えば、その人はそのコースは 15～16 年前に私が開発して世に発表したという。

後藤さんは、もっと昔から行っているとのこと。（後日、山スキーや頚城高松山、石川のキーワードで検索したが何も出てこなかった。）特に得るものもなく、話しているのが面倒臭くなって下ることにした。下りの尾根はこれまた快適であった。上りに使っても調子良さそう。下りは 1 時間

くらいで大西沢に到着し林道にでる。川沿いにズ～っと歩く。しばらくすると菰釣山への一般道の看板があった。途中 4 件ほど家があり、そのうちの 1 家の犬がずっと吠えてきた。住人のおじさんも登場。家の周りには草木の花が満開で、その人が全て植えたらしい。

　東京出身で移住し、5 年前に奥さんを亡くされ、今は犬と 2 人暮らし。雪は 3m くらい積もるらしい。冬は不便だという。道々、加藤さんがいろんな花を見つけて教えてくれる。ようやく駐車した山荘に到着。山荘ではお風呂を使わせて貰った。

風呂は一人 300 円。駐車代は 1000 円。下山してそれから風呂に行くのではなく、下りたその場所で風呂に入れるのは有難い。風呂は 2 人しか入れない大きさ。風呂の水の蛇口からでる水は、試

しに飲んでみると、素晴らしく美味かった。後藤さんから常温のビールを１缶貰い、遠く眼下に咲く満開の桜を見ながら飲む。コロナで飲食の花見はご法度だが、思わぬところで花見酒を楽しんだ。

長泉に戻り、下土狩駅前の「満貫」で後藤さんと２人反省会。開店は 17 時だが、16 時から飲ませて貰う。19 時まで飲んだところで、20 kmのウォーキングから帰ってきた勝又さんが来店。そこから２時間滞在。帰りは下土狩駅ら JR で長泉なめり駅まで一駅乗り、自宅へ帰った。

以上

遠藤さんの感想・・・

菰釣山のバリエーションルートと地図読みの計画書を見て土曜日の予定が日曜日に変更となり、これは行くしかないと思い参加させてもらいました。駐車場に着くとスマホはリュックの中に入れて、どこから登り始めるか探して看板の裏から尾根歩きとなる。

先頭を歩きペースが速すぎたのか汗が流れて１枚上着を脱いだ。Ｉさんには高度を聞いて今ここだねと地図で確かめた。1055,7m地点で後藤さんに「どっちに行く」と聞かれ「右」と言ったら大間違い。またＩさんとＫさんに教えてもらい進む。緩やかな尾根歩きは気持ちよく山桜も綺麗に咲いていて春を満喫しました。途中富士山の姿も見ることができ気分が上がりました。山頂に行く手前で下る道を確かめ前進。お昼休憩は楽しい一時で「飲む点滴」が今も笑える一言です。

お天気に恵まれた山行は最高です。下りもこけることなく無事下山できてよかったです。ちょっとしたアドバイスがとてもためになり、「地図は見るのではなくこの場合は読むもの。」と。奥が深い地図読みですが、ルート探しや迷子にならないように日々勉強だなと思いました。飛び入りで参加させて頂き感謝です。ありがとうございました。

その他の記述（後藤）

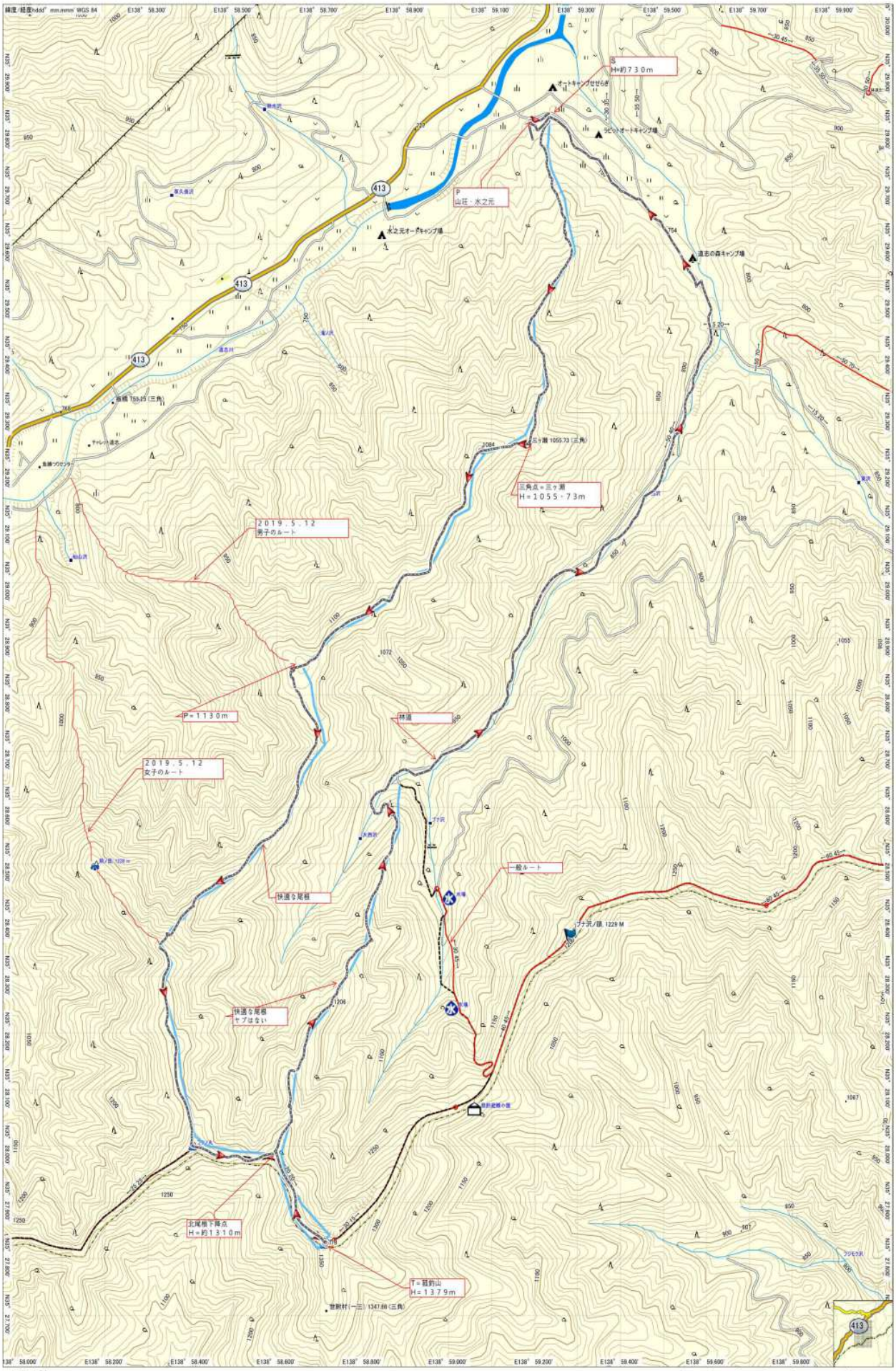
１．朝、前日開通の「ぐみ沢 IC～須走 IC（約 7km・無料）」を初走行。快適だった。

２．適当な駐車場がなく困った。ウロウロしたがイイ場所がない。昔、道志の森キャンプ場でトラブったことがある。空き地に駐車し菰釣山に上り、下山し帰ろうかと思ったら、自称・地主のオヤジが出て来て駐車料金を払えと言う。
しかし、そもそも、そこは駐車場の表示がなかった。当然、料金も分からない。仮に、駐車料金を請求するなら、それなりの表示が必要ではないか。表示があり、納得し駐車する。暗黙のの契約だろう。私は、どうしても納得できず支払わなかった。それと、本当に「地主」かどうか証明するものはない。
だが、一緒に駐車した仲間は、面倒なので支払って、そそくさと帰った。そんなことで今回も慎重になった。山荘「水之元」は、良かった。気持ち良いイイ方も多い。山荘は、昭和６０年から３６年営業。長くやっているのは、良い宿の証。

３．北東尾根 P1130mに着いた時、「はてな、何処かでみたような？？」だった。良く考えたら、2019.05.12、ここから下の北西尾根をやっていた。その時は、男子３名。女子は、北尾根 A を上り、三角点 1229.3m で合流した。下山は、A 北尾根を下山した。A 北尾根に出たところに手製の道標があり、クギで文字を表示してあった。

４．下降する尾根は、標高１３１０ｍ峰 B 北尾根。北に向かう尾根は、上記の三角点 1229.3 を有す、尾根も北向きなので、便宜上、北尾根 A, B と分けてある。

５．花は、マメサクラ・ミツバツツジ



2021/04/12 5:35:09

GARMIN

日本勤労者山岳連盟
静岡県勤労者山岳連盟・東部ブロック
裾野麗峰山の会（愛称・れいほう山の会）
会報「れいほう」
第２７期・２巻　　２０２１・５月号　　NO.２３７
連絡先　静岡県駿東郡長泉町下土狩 1541-12　徳山荘
090-8956-9990　　055-986-6075
HP　　http://susono-reihou.babyblue.jp/
mail　　takanori_reihou8888@yahoo.co.jp

福寿草　４/２　白馬村

東一華　３/３１　長野・千国